

中学校

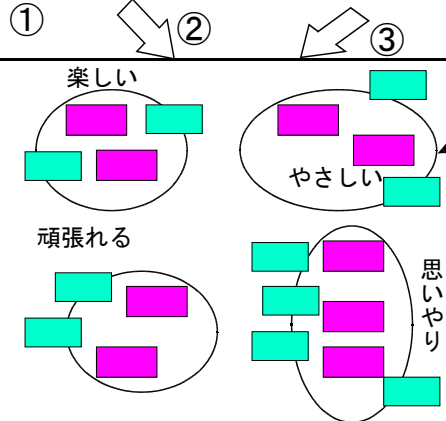
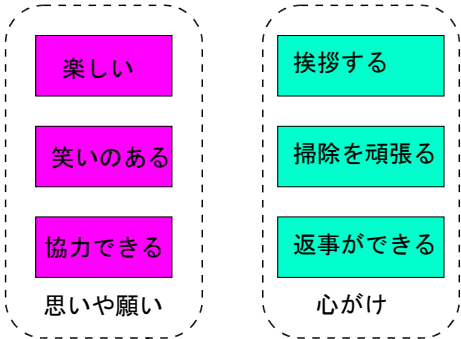
言語活動⑥

「互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる」

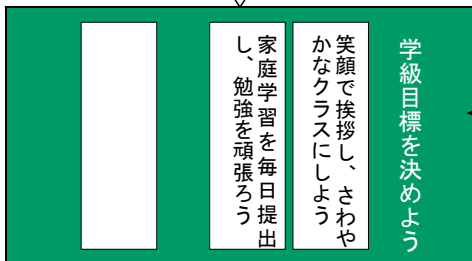
育成したい
言語の能力

考える力：多様な視点から意見を聞き、自分の考えと比較し、まとめる。
表す力：目的相手に応じ、自分の考えを深めながら話す。

教材等の例



模造紙 例



黒板 例

単元名等 1年 特別活動 「学級目標を決めよう」

1時間目/1時間

本時の目標

新しい学級編成により、形成された学級集団の中で、学級の一員としてそれぞれが役割と責任を果たし、お互いを認め合えるような開かれた人間関係が形成されるような学級目標を決める。

本時の流れ

伝え合う

- ◇ 一人一人の思いや願いを赤色のふせんに書く。
- ◇ ふせんに書かれた思いや願いを班内で発表し合う。
- ◇ 一人一人の思いや願いの書かれたふせんを模造紙に貼り、KJ法で話し合い、班の中での目指す学級目標を決める。
- ◇ 班内で決められたクラス目標候補について、どのようにしたらより思いや願いに近付けるか、自分の考えを青色のふせんに書き、意見交換する。
- ◇ 思いや願いに近づくための考えを組み合わせ、学級目標の候補を決定し、カードに書く。

指導の工夫

- ◇ 一人一人の思いや願いが話し合いに反映されるよう、視覚的にとらえられやすいふせんを活用する。
- ◇ ふせんの色を変えることで、思いや願いと、それに近づくための心がけを書き分け、具体的なクラス目標にする。

発展させる

- ◇ 班内で決めた学級目標の候補を代表者が発表する。
- ◇ 話し合いにより、よりよい学級目標を決める。

- ◇ 黒板上でもKJ法により、話し合い活動が進むよう、大きなカードを使用する。